



吉川市はSDGsを推進しています



児童館ワンダーランドでは、大型の天体望遠鏡やプラネタリウムを備えた特徴を生かし、宇宙や天文学への興味・関心を高めていただけるような事業を展開しています。

宇宙に関するさまざまなイベントが盛りだくさん

毎月行われる「天体観望会」では月ごとにテーマを変え、市が誇る天文博士「宙ボーイ」による星空解説と望遠鏡を用いた実際の星空観望が行われています。

株式会社アストロアーツが発行する雑誌「星ナビ」でも「宙ボーイ」の活動が紹介され、自身も記事執筆されています。

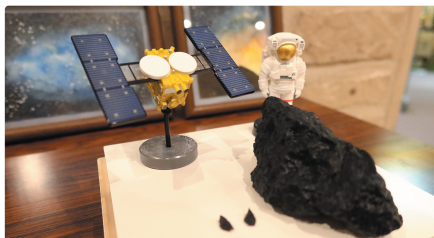


宙ボーイによる天体観望会

また、プラネタリウムでは、昨年度リニューアルした全周番組「ノーマン・ザ・スノーマン」の放映が好評を博しています。今年度からは、番組を放映する他にも、児童館職員が行う季節の星座解説などもさらに内容を充実させています。

小惑星「リュウグウ」のレプリカの展示を通して

そうした中、今年6月15日から夏休み期間まで小惑星探査機「はやぶさ2」が採取した小惑星「リュウグウ」のサンプリングレプリカを展示し、多くの方にご覧いただきま



「リュウグウ」のレプリカ

した(サンプリングレプリカは科学館など全国200館限定、県内では、児童館ワンダーランドを含む5カ所でのみ展示)。これは、全長が約8ミリメートルから1センチメートルと、とても小さな石ですが、生命の起源や約46億年前の太陽系の謎に迫ることができる非常に重要な手掛かりとなるものです。

児童館ワンダーランドでは、サンプリングレプリカの展示をきっかけに、宇宙や天文学への興味や関心をさらに多くの方に広げるため、次ページのJAXA職員による講演会を企画しました。ぜひこの講演会を機に、どこまでも広がる宇宙へ思いをはせていただきたいと思います。